

「生き直しの学校」の子らが通う村の小学校に 奨学金と浄水器をプレゼント



ドゥアン・プラティープ財団は9月27日、カンチャナブリ県に開設している「生き直しの学校」の子どもたちが通学しているバーントウンサラ一小学校に26人分の奨学金と浄水器1台をプレゼントしました。

「生き直しの学校」は広大な平原の中に建っていますが、周辺の村々でサトウキビやじゃがいもを栽培している農民の中には貧しい人々が多いため、一人でも多くの子どもたちに学ぶ機会を提供しようと毎年、奨学金を贈っています。

27日は財団創設者のプラティープ・ウンソクタム・秦さんが同小学校を訪れ、「生き直しの学校からも、クロントイスラムで苦しい生活を送って来た子どもたちが毎日通学しています。どうか仲良く勉強を続けて下さい」と励ましました。

また愛知県教員組合から寄贈された浄水器1台を校舎に設置しました。これまで同小学校では井戸水に頼って来ただけに、先生方も「これできれいで新鮮な水を子どもたちにすすめることが出来る」と喜んでいました。

